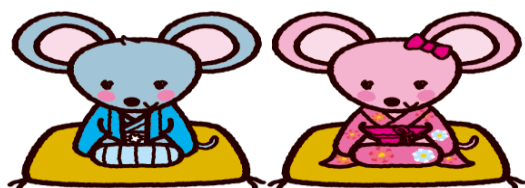


だいこん通信

NO.5

2020年1月



Happy New Year

2020

いよいよ新しい年が明けました。昨年、11月の定期公演「みら・くる」では、平日の夜を含め6回公演に挑戦しましたが、沢山の方々が来てくださって本当にありがとうございました。1日3回公演するというのは、私達にとっても初めての試みで、3回目は倒れてるんとちゃうやろか？と、とても心配でした。しかしながら、皆さんの暖かいパワーを頂き、誰も倒れることなく、無事に演じ切ることができました。重ねて感謝の気持ちでいっぱいです。（実は、その後、調子を崩している人が続出したんですが・・・）そして、初めての試みは公演回数だけでなく、Tシャツや、クリアファイルを販売するという取り組みもありました。これも、売れ残ったらどうするのかなど不安を抱えての販売でした。ところが、皆さんの応援のおかげで、Tシャツは完売しただけでなく、追加注文もするという、嬉しい悲鳴に変わりました。追加注文した分が少しありますので、ご希望の方は、劇団員に言ってくださいね。本当にありがとうございました。

さて、今年2020年は、劇団「すすしろ」にとって、大きな大きな挑戦の年でもあります。全員、健康で怪我無く乗り切れたらいいなあと思っています。年末の総会では、もうあと半年余りしかない、英語覚えられるんやろか、頑張っていこうなど不安や期待の声がありました。というのも、ニューヨーク公演の時期が具体性を帯びてきたからです。通信でもお知らせしてきましたが、変わってきて、10月第一週の頃になりそうです。ということは、9月12日（土）13日（日）の壮行公演から時間も無いという事もわかってきたのです。どうですか？その時期なら行けるわー！と思われる方は、是非、ニューヨークでの私達の勇姿（奮闘ぶり）を見てくださいね。

昨年は12月22日（日）に、千里リハビリテーション病院から依頼があり、グランキューブ大

阪で、オリジナル作品「扉を開けて」を公演しました。今年は1月26日(日)に貝塚で、『みら・くる』の依頼公演があります。今は両立させて練習していますが、この公演が終われば、いよいよ本格的にニューヨーク公演に向けて『葉ごろも』に取り組んでいくことになります。

本年度も、引き続き応援よろしく申し上げます。

新春 BIGなインタビュー♡

今回は、今までも大変お世話になっていますが、これからこそ、もっとお世話をおかけしていく英語クラブの講師の太田敏一先生に「すすしろ」について話していただきました。先生は、私達にとって難しい英語も面白く、わかりやすく、パワフルに教えてくださっています。本当にありがたいことです。英語クラブも今までは月1回でしたが、もっともっと増えていくことになると思います。それに伴って、先生のご苦勞も倍増するのでは……

Q. 前回のニューヨーク公演では、講師募集のチラシを見て、申し出て下さったと聞きましたが、チラシを見た時の感想と引き受けようと思われた動機はなんだったんでしょうか？

A. まず、面白そう！と思い、とにかく練習を観に行ってみる！以外考えられませんでした。

Q. 「すすしろ」の第一印象は？

A. 皆さんの情熱、そして本気度に驚かされました。

Q. 操先生や秋田さんとのつながりは？

A. 操さんは、太田自身の英語演劇指導者、奈良橋陽子さんがキャスティングされた「ラスト・サムライ」に出演されていた点、富良野塾におられた点など、喋りたくなることがたくさんあって、随分年齢差はありますが良い友人関係になるのに時間はかからなかったと思います。秋田さんは、やはり存在感といいますか人を惹きつけ、また繋げるオーラをお持ちの方で、ちょっとその「輪」の中に入れてもらえたら・面白いことが待っているのでは？という期待感を抱かせてくれる方という印象でした。皆さんの年齢分 個性とこだわりをそれなりにお持ちの団員方ばかりですのに、ONE TEAMに纏めあげる力にはただただ尊敬あるのみです。

Q. 10年前と今の「すすしろ」との違いは？(雰囲気とか……)

A. 顔ぶれはかなり変わりましたが、やはり「すすしろ」は「すすしろ」です。皆さんの情熱と個性は素晴らしいまま、「何かやらかしそう」オーラも以前のまます。

Q. 「すすしろ」への思いとか期待することがあれば……？

A. 微力ながら、お手伝いさせていただきながら、ちゃっかり NY の雰囲気までも一緒に味あわせて頂けそうなことに感謝しております。期待することとしては、やはり自分は「すすしろ」のオリジナル作品が好きなので、これからも新作に期待してしまいます。

お忙しい中、本当にありがとうございました。

みんな、『葉ごろも』の英語のセリフも練習し始めました！

英語！！頑張るぞー！！